

大分大学経済学部社会イノベーション学科

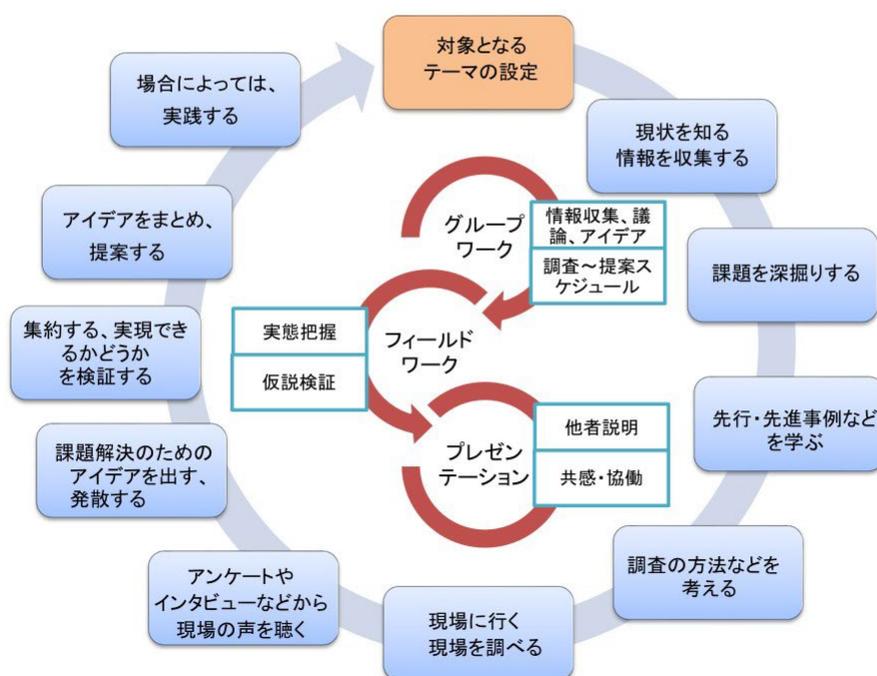
2023年度 サービス現場のフィールドワークについて

お問合せ等は、経済学部社会イノベーション学科 渡邊博子までお願いします
watanabe-hr@oita-u.ac.jp

サービス現場のフィールドワークの概要

サービス現場のフィールドワーク（以下、SFW）は、本学経済学部社会イノベーション学科（2017年度開設）の2年次後期に実施する課題探求型教育プログラム（必修科目）で、いわゆる中級セミナーの位置づけとなります。外部連携のもと、社会的な課題の存在に気づき、関心を持つきっかけになることを目指すもので、各年度テーマを設定し、文献やインターネット等による調査だけでなく、外部の方の講義等を受け、現場見学やインタビュー調査、アンケート調査などフィールドワークを行うことで、その社会的な課題の背景や中身を理解すること、さらにはその解決案を提示することを狙いとしたものです。また、常にグループワーク等、皆でアイデアを出し合い、具体的な成果へとつなげていくことが目標となります。テーマ設定から全体の流れについては下図の通りです。

テーマ設定からの流れ



なお、SFW では、2018 年度からこれまで、関係機関や関係各位ご協力のもと、「『大分トリニータ丼』の企画から販売」、「西大分地区の観光戦略」、「大分の次世代モビリティ(グリーン・スロー・モビリティ、超小型モビリティ)」、「大分の特徴を活かしたカーボンニュートラルの実践アイデア」というテーマを取り上げてきました。

2023 年度のテーマ

大分の金融リテラシーを向上させることで「ウェルビーイング (Well-being)」を実現する提案

2023 年度の実施概要

受講生:社会イノベーション学科 2 年生 40 名

実施曜日:毎週火曜日 5 限(フィールドワークは別日程)

担当教員:社会イノベーション学科 所属教員 7 名(松隈、河野、豊島、仲本、中本、田村、渡邊)

実施教室:経済学部 202 号教室(黒土始記念講堂)

大分県商工観光労働企画課および東京海上グループ(東京海上日動火災保険(株)大分支店、東京海上日動あんしん生命保険(株)大分生保支社等)との連携のもと、日本銀行大分支店や大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)、(公社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(大分県協会)／(株)イデアルライフからもご講義いただき、本学の教職員にも協力してもらいながら、金融リテラシーに関連する分野での課題解決を行いました。

外部連携・ご協力者(職位等略)

東京海上日動火災保険(株) 大分支店 企画チーム 大久保友直氏

東京海上日動あんしん生命保険(株) 大分生保支社 妹尾百合子氏

(公社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(大分県協会)／(株)イデアルライフ 藤田吉紹氏

大分県商工観光労働部商工観光労働企画課 安東太一氏

具体的には、まず、相対的に低位置にある大分県および大分県民の金融リテラシーの現状、金融に関する体験や学習の傾向などを把握した上で、金融リテラシーをさらに向上させることで、人生の選択肢が増えること、夢の実現が可能になることなどを体感しました。それらをふまえて、大分県民の金融リテラシー向上のための課題解決、新しいプランや事業創出などについて考えていきました。

今年度は、受講生 5~6 名単位でのグループを 7 つ作り、図書館やインターネットなどでの資料収集や先行研究・先行事例等の整理とともに、現場見学・実態調査などのフィールドワークを行い、地域の特性や社会動向、各主体のニーズに合った新しいサービスのあり方について具体的に提案しました。

終盤には、連携先等関係各位臨席のもと、プレゼン大会(成果報告会)を行いました。

また、本学科毎年度恒例の「社会イノベーションフォーラム」(2024 年 2 月 1 日<木>4・5 限開催)にも参加し、成果報告等を行う予定です。

2023年度の具体的内容

第1回 10月3日(火)はじめに、日本銀行大分支店からの講義、課題提示・スケジュール確認等
「金融リテラシーへの招待」 日本銀行 大分支店 総務課長 伊藤雅祥氏

第2回 10月10日(火)大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)からの講義、課題解決に向けた講義(東京海上グループ、(株)イデアルライフ)、課外活動や次回までの課題説明
「大分県の消費教育・金融教育」 大分県アイネス 消費生活班 主事 時松みゆき氏
(同 課長補佐 飛河敦子氏ご協力)

第3・4回 10月15日(日)課外活動(「おおいた食と暮らしの祭典」・「オオイタミライブス」・地場銀行関連施設等の訪問・見学)



大分駅前での集合写真



ほうわつながるプラザでの見学・インタビュー



オオイタミライブスでの聴講

第5回 10月17日(火)東京海上グループ、(株)イデアルライフによるライフプランニングの実践講義



第6回 10月24日(火)これまでのまとめ、グループワーク開始(取組事項の決定)

第7回 10月31日(火)大学教職員向け金融講座への参加と観察、東京海上グループからの示唆



第8回 11月7日(火)グループワーク(アイデアを考えるための現地調査の内容検討や準備)

第9回 11月14日(火)グループワーク(現地・実態調査のまとめとアイデア発散)

第10回 11月21日(火)グループワーク(現地・実態調査のまとめとアイデア発散・集約)



第11回 11月28日(火) (株)イデアルライフの講義、グループワーク(アイデアの集約と精緻化)

第12回 11月~12月にかけて グループごとのフィールドワーク

第13回 12月5日(火)グループワーク、プレゼン大会準備



第14回 12月12日(火)プレゼン大会(全グループ発表、各グループ発表6分+質疑応答3分)

(各グループのプレゼン内容については資料②に詳細を記載)

外部審査員

日本銀行 大分支店長 徳高康弘氏

東京海上日動火災保険株式会社 大分支店長 甲斐友邦氏

大分県商工観光労働部 理事 高野信一氏

大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス) 所長 木内直道氏

今回の外部連携・ご協力者 (以上8名)

※明確性・論理性、独自性、発表用資料、発表の姿勢、チームワーク等の項目で審査

グループテーマ(発表順)

グループ4:金融すごろく

グループ6:支出の見える化

グループ5:絶対全国民が受けたい授業

グループ3:未来へのすごろく!ライフサイズプランニング

グループ7:未来のための金融リテラシー

グループ1:ゲーム形式でライフプランニング

グループ2:投資を大学生に浸透させよう



第15回 12月19日(火) 講評および講評に基づくグループワーク、優秀提案の発表・表彰、総まとめ

審査結果と表彰

外部審査員(8名)による結果 最優秀賞(グループ5) 優秀賞(グループ3・7)

学生相互により ベストグループ賞(グループ4)

東京海上グループより 東京海上グループ賞(グループ1)

安東太一氏(大分県)より 学生全員への参加賞

イグテツ基金(社会イノベーション学科学生への寄付金)より 学生全員への副賞(図書カード)



最優秀賞(グループ5) (右写真:藤田氏と)



優秀賞(グループ3)



優秀賞(グループ7)



東京海上グループ賞(グループ1)
(東京海上日動火災保険㈱ 佐野次長)



ベストグループ賞(グループ4)
(東京海上日動あんしん生命保険㈱妹尾氏)

グループワークでの検討内容

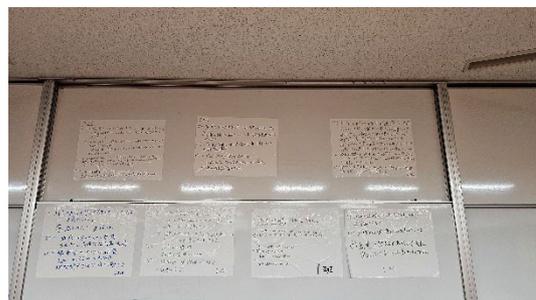
(1) プレゼン大会を終えて

- ① 配布のコメントを読んで、考えたことや感じたこと
アイデア創出、提案の内容、プレゼンの仕方など
- ② 今後活かすべきこと

(2) 自分たちの提案のこれからについて

- 配布のコメントから得られた提案のブラッシュアップ
- 実践の可能性と、実践する場合に必要なこと

(3) グループワークを通じて得られたこと



特に、(2) 自分たちの提案のこれからについて、各グループの検討結果は以下の通りです。

グループ 1: 私たちの提案を授業に組み込む、ゲームの金額を細かく設定する、金融リテラシーの要素を増やす。

グループ 2: PayPay 投資以外にも他の投資方法についても目を向け調べる。

グループ 3: アイデア自体は評価していただいているコメントが多かったが、実際に実施する時の課題として集客やタイムマネジメントに関して改善や修正が必要だという意見をいただいたので、それらの点を念頭に練り直したい。

グループ 4: 高校との連携について具体化する。

グループ 5: 大学との連携、教員と講師の確保。

グループ 6: 既存のサービスとの差異、システムの具体的な内容の決定。

グループ 7: 授業の継続性、運営主体の課題についての解決方法としてオンライン授業で同時配信するなどの検討をし、県全体に活動をひろげていきたい。

※2月1日(木)14時50分~18時 社会イノベーションフォーラム(場所:経済学部内)

SFW2023の詳細については、社会イノベーションフォーラムも含めて、別途まとめる予定です。

以上